

意見

「四條畷市まちづくり長期計画」の全般について

- ・今日述べた意見について、テープをおこし、しっかりと今後の取組みに活かして下さい。必ず！
- ・参加者の少なさにびっくりしました。こんな重要な説明会なんだったら、もっと周知方法を検討すべきだと思います。
- ・参加者が発言された意見ももっともだし、市の説明も判るが、議論の中身が多岐多様であり、今回の説明会だけで理解・納得できるものではない。
- ・まず意見交換会を進める方法から意見交換する必要があるのでは？例えば、分科会の開催⇒インフラ整備・少子高齢化対策・都市整備・再編・教育環境整備など→関連性のまとめ→全体計画といったような。また、いずれ市民への周知徹底が必要になる訳で、その方法の検討会等。
- ・高齢者が町を大きくし、住みやすい町づくりに努力してきたのだから、これから住みなれた町で安心して住んでいけるように進めていくよう努力してください。
- ・人口減少に伴う、建物空屋の整備および道路（上・下水道・ガス等のインフラ）の再整備を計画的に遂行すること。
- ・現在進めている地域コミュニティを西部地区全体に組織化し、住民の声に基づく個別地域のまちづくりを早急に構築すること。（自治会の廃止も要検討）
- ・上記のコミュニティの中から四條畷市にとって有意の人材を発掘し、その人達をワーキンググループとして活用を図る。
- ・高齢化に向けた医療施設・特養等の受入れ施設の充実を図る。また在宅ケアにおける介護支援の人材及び要員の確保。
- ・意見会で発言された方のお話でハッとしました。統廃合の費用のお金はどこからくるのでしょうか？なぜ、急ぐのでしょうか？
- ・どうして全ての市民の意見を聞いたかのように進んでいるのでしょうか？
- ・補助金についての説明がなかった。
- ・学校の統廃合がメインになっていて、それだけでなくもっと全体的な説明と話し合いをすべき。
- ・ジャパンシンドロームは本当にとんでもない状況で「今」でなく「先」を知る市民であるべきかなとも思う。
- ・「PFI」の説明がなく不親切。資金面での説明は不十分。温水プールまで考えるとやはりやりすぎ？な感じ。
- ・恐ろしい。不安。財政面で、借金一杯の市になるのが恐ろしい。
- ・統廃合の事だとわからない人が多いと思います。もっとわかりやすい題名にしてもらってもっと参加者が増えると思います。
- ・子どもを育てやすい町づくりが聞いてあきれました。
- ・近隣地域の家の広告を見ても、小・中学の通学に40分もかかるチラシを見たことはありません。
- ・少子化のために学校を減らし、さらに少子化を進めることになると思います。
- ・学校の跡地を色々利用していく話がありました。どこも手を加えなくてはいけないと思うが財源はどこから??税金があがるとか心配。
- ・整備にかかる予算の提示もなく、絵に描いたモチの感は否めない。
- ・子育て世代の少ない町に立派な建物はいません。もっとシンプルでいいのではないのでしょうか？夢があっていいのかもしれませんが、2020年頃を想像すると、年寄りばかりのさみしい市になってそうな四條畷市しか浮かびません。子育て世代が住みよい市であることがまず一歩ではないのでしょうか？
- ・公共施設の短期計画で現在～平成29年度から南中を廃校にするという短い期間で進めるには早すぎると思う。特にこの地域の住民や小・中学校の親たちにもっと理解を得るために、もっとこの地域限定に説明会を開く必要があると思うし、教育委員会の人たちは、こちらの意見をよく聞いてもらい、もっと慎重に検討すべきだと思う。※子ども、親、小中学校の先生
- ・施設が一ヶ所に集まり便利になるが、南野がすたれてくるのではないのでしょうか。どの地区に住んでも住み良いように考えてほしい。
- ・長期計画だから、関心が薄れやすい。だからこそ、長期にわたって民意を結集するプログラムを作成して、市民の側に立った計画づくりを願いたい。
- ・大きなプロジェクトだと思います。とても前向きなことだと思います。だからこそ、もっと色々な方をまきこみ盛り上がりみせて欲しいです。あまりにもアピールが消極的だと思いました。（基本的には、まちづくり長期計画は賛成です。）市Pの会長さんを巻きこむべきです。学校の保護者の目視が足らなさすぎます。下の保護者まで話しがいていません。
- ・今住んでいる人のためのまちづくりで、人を増やす街づくりではない。これは決定事項なのか。暮らしたいと思える、魅力的な街づくりと本当に思えるか。厳しい財政と言いながら、この費用がどのように用意するのか資料がない。
- ・子育てしやすい街をつくって欲しい。保育園は他市に比べると入りやすかったと思っています。そのまま四條畷に住みつづけるために、近くに小学校、ふれあい教室、中学のクラブ活動から安心して帰ってきて欲しい。安心できる分、働いて税金納めます。
- ・都市計画が弱すぎる。⇒2年前の計画から少し肉付けした程度にしか見えない。学校だけを統廃合して他の公共施設はどうしていくのか？という視点が全くないのはおかしい。
- ・人口減⇒少子化の流れがあるのと、予算減からこの計画が立ち上がっていると思いますが、具体的にどう予算配分されていくのか、あまりに不明瞭なため、説得力がない。

- ・もっと人口減をくい止めて20～30代の世帯を増やす計画を立ててほしい。⇒市内に古くて無人の住宅が数多くあり放置されているので、これを対策する必要がある。例えばS56の建築基準法改正前の住宅に関して課税を検討してみてもどうか？理由は老朽化した住宅は大災害があると倒壊のリスクが高い。⇒社会的コストになるため古い住宅を持っていると課税されるとなれば、新しい住宅に建てかえることが促進されるのでは？と思う。
- ・よくわかる資料で理解できた。
- ・大変良いと思います。考えに考えぬいた計画だと考えます。
- ・プロジェクトがあまりにも大きすぎて想像しづらいです。理想の理想と感じて・・・すいません。20年先、50年先の事まで考えて下さり、ありがとうございます。娘たちが四條畷に住んでいたいと思える町づくりを期待します。
- ・プールや図書館を建てるのであれば、どれくらいの人々が利用するのか。試算していただき、示していただきたいです。説明が長すぎて質問が少なくなる。
- ・話の中では、超少子ばかり話されているが、なぜ人口増をどのようにすれば良いか検討されたか！？他は良く説明されていたと思う。
- ・大変わかりやすい説明で安心してまかせられると感じました。
- ・PFIが上手くいくのか見当がつかないが、市民税がこれ以上他市より高くなるのなら、勘弁して欲しい。くすのき小や西中の改修工事よりも他にすることがあると思うのですが。
- ・計画案通りに整備されたら、四條畷市の人口が増えるとお考えなのでしょうか？
- ・まちづくり活性化には、①既存の建物をよりよくする ②様々な問題点を踏まえた、町づくり発展のための新設備を作る ③市民の生活を豊かにする、生きがいがづくりにつながる方策を考え生活の基盤を作る。大きく3つあると思う。既存の施設、観光地を効率的に用いることや、新しい町計画は理解できるが、市民の心によりそう生活の基盤作りがもっと大切だと思う。
- ・人口減少を行政の力でSTOPさせるような案とは思えません。若い世代の家族が引越してきたいと思えるようなまちづくりをして下さい。学校を減らすと子供を育てる世代は来てくれません。
- ・きれいな建物を作るのはけっこうだが、もっと学校とかに力を入れるべき。きれいな市役所では若い世代は集まらない。教育の充実が若い世代を呼ぶ。
- ・提案でなければほんとうにいいまちづくりは不可能ではないかと思えます。自分たちの力で四條畷をかえていくんだというモチベーションをいかに高めていくのか、たくさんの市民にそんな思いをもってもらえるように働きかけていくことが担当の方々のまずやるべきことではないかと思えます。もう少ししていねいに話をすすめていってもらえることを望んでいます。
- ・良
- ・2050年までの壮大な計画、もっと広く市民に知らせて、市民的議論を巻き起こす必要がある。
- ・次世代にまで関わる計画であり、財政的負担もかかってくることから、知らなかったや、計画頓挫にならないように。
- ・市のホームページや施設などで閲覧できるとあるが、そもそもこのような計画があることを知らない市民が多いのでは？関心がないでは済まされない。
- ・田原地区の生活圏が生駒市（買物、交通、通信）にある現状を踏まえて、考えることも必要と思われる。
- ・全国的に少子化であるが、四條畷に人が集まるようなことも考えてほしい。来年開業予定のイオンのように企業誘致や大型マンション等により人を増やした考えもいただきたい。今の考え方は、このまま行けば・・・の考え方になっている。
- ・メリット、デメリットの観点から比較して考える必要がある。
- ・「四條畷市のまちづくり長期計画」に向けた市への要望書
市は上記の事業を6年かけて完成させたいとの考えで、この間、多くの市民の意見を聞くとの主旨で意見交換会を8回実施されました。しかし、意見交換会の開催が市民に十分に知らされず、そこに参加した市民の数は極めて少なく、多くの市民の意見を聞く場になっていません。しかも、その場でも出された市民の意見は、その殆んどが「東小、南小、南中、畷小の4校も1度に統廃合（廃校）にしていいのか」「この計画で通学路の安全が本当に確保されているのか疑問だ」「もっと地域を回って地元の人たちの意見を聞くべきだ」等々、市の計画に反対、もしくは疑問を投げかけるものとなっています。従って、このままの状態では「まちづくり」を予定通りすすめることは、決して市民の思いを反映したものとはいえません。私たちは、四條畷市のまちづくりをすすめるに当たっては、多くの市民の知恵を集め、市民の願いに叶うものにしていくべきだと考えます。以上の主旨で以下のことを要望致します。1、四條畷のまちづくりに要する市の予算はどれだけのものか。また、市民の負担がどれくらいになるのかを明らかにして下さい。2、市民が充分、理解・納得できていないままでの計画は実施しないで下さい。3、学校は子どもや市民の大切な財産です。子ども、保護者、市民の合意を得ない統廃合（廃校）はしないで下さい。
- ・国の助成金が出るから一気に統廃合や校区編成を行おうとしているように感じた。子どもの安全が一番大事だと思うので、通学等の安全が保障されていない計画には同意できな

	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none">・支援が必要な児童・生徒に配慮した施策が全く見うけられない。・学校を減らすということは1校がかかえる要配慮児が増えるということ。介助員等の配置も十分確保できていないように思う。・病児保育が可能な施設を増やすこと。安全な児童公園の増設など、住民の具体的な要望をとり入れた具体的な計画案を示してほしい。(一般的言葉を並べた計画案はいらない。)・まちづくりを考える時、担税能力のある人を多く受け入れる事を含めて、考えなければならないと思います。子育て世代や若い世代がこれから住んでみたいと思うまちづくりだと思います。その時に温水プールも魅力的だと思いますが、学校が近くにあることが大きな要素だと思います。小学校が近くにあっても中学校が遠くては、やはり住みたいまちにはならないのではないのでしょうか。南野・楠公・川崎・米崎地区からは中学校が遠いです。・本市は企業も少なく、税収入が少ないと思う。その為、住民税、水道代も他市に比べ高い。設備の跡地もうまく活用されているのか？住宅メーカーに売却も住宅自体が飽和状態ではないのか。今ある物をリメイクして活用するのがいいのではないか。大阪で一番狭い本市なのだから、市議員の数をもっと減らしてもいいのでは！・古くなったから建てかえ！ではなく、補修でいけないかもっと考えるべき。躰小をつぶしてではなくより廃校の必要性が高い南中跡地にすべき。そこが現在の場所より離れていて、利便性が問題になるのなら、その場所で一番費用のかからない方法を探すべきです。大阪の中でも小さな市なのに、無駄に大きなものや新しいものは必要ない。車に乗れない人もいるのに施設を集めればいいというものではない。より地域にあった配置を考えるべき。・市で公の施設の老朽化で建てかえばかりを考え、どうにかして使用出来ないか考えられましたか、もっと、市職員の頭脳を持って考えてほしいですね。大会社を入れずに。・予算オーバーになったらどうなさいますか。それでも続行されますか。家庭では予算に近づけます。・田原を別にして、四條躰の中心となる所に市役所があるのがいいのでは？・漠然としすぎていて、分かりにくいのに、学校を統合する事は急いでいる様感じた。国からの指針、市として決定出来る事に制限があるような話し方でありながら、具体的に口に出されることもなく、曖昧な感じがした。・くすのき小学校の図書室へのカフェ併設、西中での温水プール市民開放、これは防犯の面はどのように考えるのか。事件が多発している今、学校エリアを立入禁止にしても、警備員を配置しても今よりリスクが高くなることは間違いないと思うし、必要なものと思えない。説明会でも発言されていたが、これが魅力のある街づくりには思えない。子育て世帯としては補助が他市よりも多い、子育て世帯への家賃補助などがある、待機児童0などの方がよっぽど魅力があるし、住んでみたいと思う。上記のことや新しい学校をつくる資金をこういったことにまわすことはできないのか。・学校統廃合に長期的なまちづくりを絡めた夢のある計画にした点は良いとは思いますが、予算に関してはっきりとしたことを示されないのは、やはり市民の理解を得られないと思います。・住みよいまちづくり、よりよいまちづくりへの取組みはとても良いことだと思います。現段階では、漠然とした部分も多く、今後は広く市民の意見をとり入れ、将来にわたって四條躰市民、四條躰市が活性化していける具体案をまとめていただきたいです。そのためにはじっくり検討する時間が必要だと思います。机上で素晴らしいと思える計画でも、実際に生活する市民がどう思うかはわかりません。どうか住民不在の計画にならないことを願います。今の計画では他所から、ここに引越してくる人はいないと思います。住民がそう思ってますから。
--	--

教育施設の再配置について

- ・163以南には中学校がないのは賛成できません。中野新町・米崎町・楠公1丁目の児童が片町線を渡らなければならないのは問題あり。
- ・現状を踏まえて検討し、住民の納得のいけるよう進めるべきだ。
- ・学校は地域の拠点であり、子ども達のふるさとである事を十分認識した上で、子ども達が成人に、また地元に戻り子育てをできる環境をつくりあげる事が最も必要なことと考える。
- ・現状の各学校は小規模校であっても「志」を高く、「他人を思いやる優しい人」に成長できる教育方針を策定すべきと考える。
- ・市にとって人材育成の第一は教育であり、財政の都合で集約するのはいかがなものかと考える。失われた資産は二度と戻らない。
- ・新小学校の校区ですが、南小の一部と東小の統合なので24年の時と変わらないのでは？ 躰小を含む統合かと思っていました。
- ・新校舎を建てる必要はあるのか？ 忍小と躰中の小中一貫校の話は？ そこに数の少ない新小児童が入り問題ないのか？
- ・西中と南中/くすのき/岡部/躰小の存続が市内からの距離が平等では？
- ・中学校へは自転車通学は認められるのでしょうか？ 旧南中学校区に居住しています。躰中まで徒歩通学は非現実的です。又、中3での転校になります。新入生を入学させず、全ての生徒が卒業するタイミングで閉鎖の方が良いと思います。2～3年は市の長期計画には大した事はないでしょう。思春期の2～3年の重さ×生徒数の重さを考えて頂きたいです。
- ・区長や自治会長の意見を聞けば、皆がそう考えているという事になるのですか？
- ・A案、B案、C案等示して、住民投票させてほしいです。全ての意見を聞くのは難しいですが、区長と相談してきた結果の案なのでこれで進めます、はとても納得できません。回覧板でこの案になりそうですと回ってきてびっくりしたくらいです。再編が必要なのはわかりますが、この配置は納得できません。
- ・コンパクトシティになっていくためにも統廃合は必要かと思う。女川や北海道でのコンパクトシティの例などもあげたらどうか。学校のPTAに先に話をしておく方が良かったのでは←女川の例を考えても、目先のことにこだわっていて“まちづくり”の視点“先”の視点に立てない気がした。田舎の小規模校と町では違うと思う。イジメられた子はクラス替えがないなんて絶望的。“昔”の田舎と“今”では状況は違う。
- ・子どもや保護者の意見を先に聞くべき。
- ・新躰中は遠すぎます。校区の中心に中学校を配置してほしい。
- ・新小学校の登下校の際、米崎からは踏切を渡らずに通うのでしょうか。
- ・たださえ道も狭く危険な通学路ですが、近いのが救いでした。“通学路の安全に配慮”と何度も言われましたが、全くリアリティが感じられませんでした。通学時間は徒歩20分くらいまでにしてほしいです。その上で老朽化対策をできないのでしょうか？
- ・中学校が遠すぎて通学が大変。
- ・今の6年生は中3の年に転校となるが、生徒の動揺が心配。
- ・計画案が策定された時点で、各小中学校に説明すべきだったと考える。何も知らないままの保護者が多過ぎる。児童数が減少しているのは事実だが、こんなに慌てて進める必要があるのか理解できない。
- ・現在、南小に小6、小2の子が通学しています。入学時からずっと1つのクラスで、クラス替えを経験していない我が子がかわいそうと思えることがあります。なので、統合することは反対ではありませんが、急ぐことなく、様々な配慮をしていただき、計画していただけたらと思っております。
- ・南野の住民としては2校も学校がなくなるという問題は大きいことだと思いますので、できれば南中を残して躰中を廃校にして、躰小に新小学校を新設すればいいのではないかと思います。
- ・短期計画（6年間）が短いと思う。
- ・現在中学生が40人1学級で学習していますが、行きとどいていない。
- ・きれいな校舎や設備であるのはとても望ましいが、卒業した学校が廃校になり、故郷ではなくなるように思う。
- ・西中の計画（プールや図書館など）について一般の人の出入りは学校の防犯面でとても心配。
- ・「子育て世代に好かれる市に・・・」という意見に賛成です。36年後に自分も高齢者になり、高齢者ばかりだと住みづらく、介護保険利用増加につながると思います。
- ・保育所・幼稚園の保護者の意見や、小・中の先生の生の声をもっといねいに聴き取って政策化しようとする姿勢を貫いてもらいたい。
- ・子どもの「意見表明権」を保障するためにも子どもの声も聴く姿勢を大切にもらいたい。

- ・いつ決定かを示して欲しい。検討時期と決定日を示すことで、意見を言える。今年中なのでしょうか・・・
- ・南小在住です。春頃は線路でわけられると聞いていた。新小学校は新畷小と聞いていたのに、今は南小・東小の合併小学校になっている。踏切、163、距離を考えた校区づくりと前で言っていた。前回の説明会で楠公からの距離は問題ないとのこと。どこが！教科書、クラブ荷物を持って、夜の帰り、朝練の時間に歩いてみたのか。中学によってクラブ活動が違ふ、制服はどうなるのか。
- ・まちづくり意見交換会に出席しました。結局は東小・南小・南中を廃校にして新小学校を作る案ですが、新小学校の生徒数が少ないにもかかわらず、とても立派な設備の学校のようにですね。他にもカフェや温水プールもそうですが、学校に本当に必要なものでしょうか？税金のムダ使いではないでしょうか。医療助成を卒業までにする、給食費を下げる、ふれあい教室の利用料を下げるなど税金は子育て全体の人達の為に有効活用してほしいです。子育ては畷で！と思えるまちにしてください。
- ・2年前と表題は変わっていますが、東小・南小・南中の廃校をH29年度から進めたい事だと分かりました。新小学校に通うのは東小・南小の子達だけで、畷小の子達は忍小に統合されるので生徒の格差はH32でも793と384で倍以上もあり、わざわざ新小学校を作る必要が分かりません。畷小を改修して使えばいいでしょう。税金の無駄遣いです。このままの案では納得できません。なぜ、H32で人数を揃える(校区の見直しで)事をしないのでしょうか？結論から言えば南中は残すべきです。安全の確保をした上で、小・中学校の校区の見直しが必要だと思います。今の案では、163号を線路で分けると言いつつも小学生も踏切りを渡りますね。現畷小からもっと南中に来る数を増やせばいいと思います。163号の北側ばかり中学が集まるのもいい事とは思えません。
- ・小・中連携校は公立校なのに不平等に繋がるので必要ないと思います。
- ・カフェの併設や屋内温水プールは学校関係者以外の立ち入りになり安全面に対するコストや維持費がかかると思います。本当に必要でしょうか。活用する人はどれくらいいるのでしょうか？税金の無駄遣いはくれぐれもやめて下さい。そして、この表題では、交換会参加者が集まらないと思います。「小中学校校区見直しをとまなう」を追加して再度説明会を開いて下さい。
- ・基本的に反対だが、市の財政運営が難しいならやむを得ない。しかし徹底した財政の見直しを！！
- ・周辺市ともっと連携できないか？例えば、寝屋川市の堀溝小は生徒数が少なく1学年で1～2クラス。くすのき小と統廃合しては？河北の人々からだとくすのき小の方が近い！寝屋川市としても堀溝小がなくなれば負担減で四條畷市へ補助金を交付しても利益がある！堀溝小跡地利用も関与できれば尚良い！
- ・南小・東小・南中を廃校した場合の跡地利用は売却して市の運営はスリムにしてほしい。プールとかラウンジとかコストだけかかるようなものは不要！！⇒教育費の維持もしくは子供のために浮いた財源は使ってほしい！例えばクラブ活動を外部に委託して教師の負担を減らす。小児医療費の拡充。教員を増やす！IT機器の導入、安全に登校できるようにインフラの整備。(3人目の子供に手厚い手当。)など
- ・よく考えられた計画だと思う。
- ・現状では田原地域としてはピンと来ていない、中期以後どうするのかの考えは出ると思います。
- ・私は東小と南中へ通う子供がいますので、すべて学校の再配置について意見をさせていただきます。確かに子供の人数が減っているので、校区の再編成は必要な事だと思います。しかし、こんな短期間に南中・東小・南小・畷小と廃校にしなければならないのでしょうか？新小学校を作るのは安全面を考えても2年前の案よりは良いと思います。しかし、今度は中学校が遠くなり、いくら中学生でもあの重いカバンを持ち、畷中までの坂道を毎日通学するのは大変です。しかも、クラブ活動などで帰りが遅くなり、暗い道のりはとても危険です。この案を考えた方は重いカバンを持って畷中まで歩かれたのでしょうか？1回だけではありませんよ。子供達は毎日です。暑い日も雨の日も体調の悪い日もあります。それになぜ廃校になるのが南中なのでしょう？163号線を境にして北側・南側1校ずつにすれば南中を残し、畷中を廃校でも良いのではないですか？新小学校は畷小で作れば今の施設の利用もでき費用の面でも良いのではないですか？今の案では畷小跡地に市役所を作りたいから・・・とてなっています。全体的なイメージは壮大で素晴らしいかもしれませんが、温水プールやカフェの図書館なんて要りません。そんな所にお金を使うなら、今のままでもどうすれば子供達が1番良い学校生活を送れるか考えて下さい。9/23の朝日新聞2面に教育2014④の記事があります。ネットによるテレビ会議システムで2つの学校をつないで授業をしたり、小規模校4校が集まって合同授業をする記事です。昨年度150回以上集まったそうです。このような取り組みをされている市町村を見学に行ったりはされているのでしょうか？そういう事をした上での統廃合でも良いのではないのでしょうか？あと、今回の説明会はなぜ学校でされないのでしょうか。廃校になる学校だけでもしてもらわなければ知らない方もたくさんおられます。反対されるのが嫌で内緒で進められたと思われても仕方ありませんよ。そんな四條畷に住みたい方はいなくなり、どんどん人口は減るんじゃないですか？もっと良く考えて下さい。最後に東小のトイレ改修は26年度と資料に書いてますが、いつするのですか？予算の都合かもしれませんが、トイレ改修もできないような市がこんな大規模な計画ができるんですか？トイレ改修は1日でも早くして下さい。
- ・十分練った案です。賛成します。
- ・今年度中に作成するということですが、その都度いつ決まるのかの報告をその都度して頂きたいです。畷中⇒南中の跡へ移動は無理なのか？
- ・財源がないと言っているのに新小学校を作る計画よりも現学校を利用して工夫した方が良いでしょう。

- ・楠公地区から暇中学まで通学するには距離がありすぎて無理がある。明らかに疲労し通学がストレスになると思う。
- ・在学中の生徒が途中から新中学校に通うとなると友達とも別れることにもなり、制服が違うなど途中から入ることがいじめにつながる事も考えられる多感な時期だけに入学した生徒のまま卒業もさせてほしい。
- ・通学距離が長くなると危険にさらされる時間も長くなるということです。出来るだけ通学時間の短くなる場所へ通わせたい！！
- ・今すぐ校区編成を考えないで、生徒数が少なくなった時点で暇小とくすのき小に吸収する形で小学校を減らせばいいのではないかと思う。
- ・意見をきいた内容と答えを書面で示してほしい。
- ・新小学校を新設するのであれば、東小・南中・教育文化センターを統合し、(忍小と暇中のような)小中連携校にすればいいのではないか。
- ・通学路に関しては、児童・生徒の立場で再考していただきたい。
- ・支援学校在籍、特別支援の必要な児童が増えている中、十分に対応できる教員、介助員の確保を保障できるのか。
- ・校区に関しては、再考していただきたい。
- ・いち保護者として入学した学校で卒業式を迎えたい。
- ・新小学校まであまりにも距離がありすぎてクラブ帰り、冬場が心配。⇒旗持ちの方を、たくさん、たくさん雇って頂き登校、下校、クラブ下校の見守りをしてほしい。
- ・心のメンテナンスが必要な子の場合、遠い学校では更に足が遠のく・・・心配。
- ・どっかでラインを引かないといけないとは思っています。
- ・東小が南小に統廃合するという計画が米崎踏切問題で白紙になったのに、なぜ南小校区の子どもたちが暇中まで行く案が出てくるのか疑問です。小学生じゃなく中学生なら大丈夫ということでしょうか？南中を残してください！！財源がないとのことでもありますし・・・新小学校を作らず、暇小に東小と南小を吸収してください。3校を2校にする必要性を感じられません。逆に不安ばかりです。通学に時間をとられ疲労、ストレスの原因になると考えます。大人の私でも自宅から毎日暇中に通うと考えるととても不安です。暇中まで急坂のうえ、車、自転車等とてもこわいです。西中にも暇中にも行かせたくありません。このアンケートに対する返答はどうやってもらえるのですか？！（楠公在住です。）
- ・関係のある小中学校 東小、南小、南中、暇小、その地域の幼稚園、保育園にて説明会を行うべきです。地元でもまだまだこの案について知らない人がたくさんいます。各々の学校、保育園、幼稚園での説明会を希望します。小規模校→複数クラス 1クラスの人数を少なくして複数クラスにしては、 34人ー1クラスー17人ずつ2クラス
- ・再度検討の必要があると思う。通学時間の問題。
- ・説明の通り、進めてほしいと思います。
- ・校舎を建てるより前に、通学路の整備を優先して欲しい。小・中の連携を強調されるが、カリキュラムの内容を早めに明確にしてもらいたい。
- ・少子化により学校が統廃合されるのは致し方ないが、目標年次はかなり近々過ぎる。
- ・南中にいきたいです。おねがいします。南中学校をつぶさないでください。小2女子
- ・ぼくはお兄ちゃんが今南中に行っているんで、ぼくも行きたいです。暇中はちょっととおいからいやです。小学校4年男子 なんこうにすんでいます。
- ・国際化がますます問題になる。地域に在住する外国人の方々も増えることが予測される。外国人との共生を生徒が抵抗なくできるような教育対策も行ってほしい。
- ・保護者へのきちんとした説明をしてください。小規模校のメリットは大きいです。35人学級（他市で実施）という考えもありでしょう。
- ・(楠公地区に住んでいます) なぜ、暇中を残すのか？4分割した東部側の中心から大きくずれている。3年間毎日通学できる距離ではない。子供を一番に考えた案とは考えられない。大人が机上で便利だと考えている案としか思えない。「適正な学校配置」とは何ですか？ 2年前はふみきりをわたる安全面が問題になった。今回の新小学校はふみきりをわたるが、これが適正ですか？安全面はどうなった？暇中の距離、これが適正ですか？
- ・教育的配慮・・・もう遅すぎます。南小校区在住です。東小を南小に合併する案がふみきり問題で白紙に戻ったのになぜ東小と南小の子どもたちは線路をこえ、163号線をこえ、遠い遠い暇中への通学をしなければならない案になったのかわかりません。その案が保護者にうけいられると教育委員会の方々は本気で思っているのでしょうか?!案を通した方々に163号線より暇駅側に中学がないと言う事態がおかしいという方は1人もいなかったのですか?今後、この案がもし通ったなら引越しを考える方もでてくると考えます!!そうなるとうち東小南小校区に子どもたちがどんどんいなくなってしまいます。米崎の知人は中学入学前に引越しと言っています!!お願いします!!南中をなくさないでください。東小をなくし南小をなくし、南中までなくさないでください。現暇小に東小と南小を統合してください。暇小をなくす必要はないと思います。このアンケートを出すだけでなく、何らかの形で返答があればうれしいです。
- ・4分割に必ず小学校をと言っているのにもかかわらず、P11の③及び④に中学校がないのはおかしくはないのですか?!
- ・楠公に住んでいるので暇中になると、通学距離が長くなるので、新小学校ではなく、くすのき小へ行かせたいのですが、校区の選択制は可能ですか。(楠公、川崎、中野新町、塚米は東高野の西側で区切るべき)

- ・そもそも校区設定の根拠は何ですか。
- ・通学路の安全確保は具体的にどう考えているのか？
- ・良
- ・施設の老朽化・少子高齢化に対しての計画であるが、どうしてもこのような計画なのか。専門家の見解は？
- ・どうしてもやらないとすれば、当然通学距離やその間の安全面の課題が出てくる。当面、子を持つ親の不安や懸念が出てくる。そのあたりを膝を交えてしっかりと話し合いよりよい方向を見出す必要あり。
- ・前回の交換会でも意見が出ていたが、ハード面だけでなく、ソフト面、人の動きが今一つ見えてこない。
- ・その一方で、地域のまちづくりと関わって、市民が自主的、主体的に安全・安心な環境を作っていく方向を打ち出す。(昔の隣近所の共同体的環境～勿論そうはあっても100%安全安心ではなかったが) 現在でも課題になっている登下校時の子ども見守り対策・地域の輪をもっと広めていくためにどうすればよいかなどの論議。行政からの上からの目線ではなく、市民から盛り上がってくるように。
- ・行政は何ができる。行政に何をしてもらおう。市民は何ができる。市民に何をしてもらおう。⇒双方向的に議論を重ねていくこと。
- ・小中(6・3制)だけでなく、合併した教育(9年生・適宜に分けられる)を将来考えるなら、中学2、小学校4校(計6校)ではなく、小中を考えて、4校の建設を考えられないか？
- ・保護者の意見をもっと聞いてほしい。・現小学校単位での意見交換会を希望します。
- ・現在の案では、中学校が遠すぎる。(JR(踏切が長い事もあり、遮断機が下りていても渡る可能性もある)や163号線を渡るのが危ない))
- ・将来、児童・生徒の人数が少なくなった場合、田原小学校と田原中学校をひとつの校舎で学ぶ計画はあるのか。
- ・意見交換会といいながら、小学校3校を廃止、中学校1校を廃止、基本的な考え方については変えないというのであれば、提案ありきで最初から意見を聞く気などないのではないか。その案について3年後の案について、今になって発表は遅いと思う。私学への選択もできません。予算的にわからないというのであればそれはいつ決定されるのか。今の小6は絶対に南中での卒業はないのか。きっちりとした回答をして下さい。
- ・もっと子どものことを考えても良いのではないのでしょうか。きれいな校舎になっても、中身が問題だと思う。
- ・学区の配置は、子をもつ親が大きくなかかってきます。中野新町、塚米、楠公のラインは区長にとっては1まとまりの方が楽なのかもしれないが、その地域には親の方たちに意見を聞くべきではないか？説明会など開いて聞くべきでは？新小学校の裏手の東中野のラインももう少し新小学校側に生徒の配置を増やすべきでは？あのあたりは幹線道路があるけれど、道路的(通学路的)には通りやすくなっているので、一度足を運んでみて下さい。
- ・15日の会場で市民から学力向上に力を入れて欲しいとの要望がありました。市教委はそれに対し、いくつかのことを発言されましたが、その内の1つに教師の指導力向上を含めていました。それは大切なことです。しかし、同じ指導力を有していて、1人は40人学級を、もう1人は30人学級を担当したとすると、どちらの学級により指導力が浸透すると思いますか。40人と20人ならどうでしょうか。進学塾は学力向上のためにどんなことをしているのでしょうか。マントウマン(1:1)ですよね。教師の指導力向上はとても大切なことですが、それがより発揮できる条件を整えないと有効な力になりません。私の学校時代は60人学級でした。先生は机間巡視ができません。それでも今ほど受験競争がない時代でしたから、もっていたのでしょうか。学力向上という命題もない時代でした。今ならどうでしょうか。学力世界一を誇るフィンランドは20人学級です。日本がいくら学力向上、教師の指導力向上を強調しても勝てないのは当然と思いませんか。少子化の今こそ少人数学級を実施するチャンスです。市教委は少人数指導をしていると話しています。私はそれを全く否定しようとは思いませんが、それに頼っていて少人数学級の良さを追求しないとすれば問題です。何故なら、学校は「学級」という単位で構成しています。バラバラの集団で構成しているではありません。「学級」そのものの学力を高めるにはどうすればいいかが問われているのです。しかも少人数指導は全教科の学力は追及していませんよね。
- ・(いじめ問題について) 10月15日の会場で市教委から複数学級にしたい考えとして「いじめ」問題も単学級であれば、それをずっと抱えていかないといけませんが、複数学級であればクラス替えをすることができる、という主旨の答弁がありました。私はこの答弁を真面目で素直な思いで述べられたものと受け止めています。しかし、実態は必ずしもそんなものではないのです。私は38年間、学校現場で勤務し、その内の15年間を生徒指導主任として全校の子どもの実態を見て来ました。単学級でも複数学級でもいじめはあります。クラス替えをしさえすればいじめ問題は解消できるというものではありません。もし、そうなら全国からいじめ問題は解決できることとなります。いじめ問題は、そういった技術的なことではなく、本当に深刻です。国連が日本の政府に子どもの教育について3回に亘って厳しい勧告をしています。「過度に競争的な教育制度」が子どもの心を苦しめている、という主旨の勧告です。受験戦争、競争教育をその度の強さを指摘し、改善を求めているのです。不登校やいじめが深刻なのはそこに大きな原因があるのです。このことは国連も指摘し、日本の良心的な教育学者も論じています。勉強についていけない子どもは、毎時間受ける授業が重荷になり、当然の結果として学校生活が楽しいものとなりません。他の子どもが楽しそうに笑っている姿を見ても、それを微笑ましいと受け止めることができず、ねたみとなって返ってくるのです。私の体験のほんの一端を述べ

ました。現場の先生の苦悩を、力量がないからだとか突き放さず、悩みを共有するという態度で聴いてやって欲しいと思います。

- ・(学校規模の適正化について) 市が7月2日に発表した「四條畷市における教育環境整備の考え方について(案)」の中に「四條畷市における解決すべき教育環境等の課題」として、3つのことが書かれています。それらの1つ1つについて意見を述べたいと思います。まずは上記の件です。教育基本法は「教育は人格の完成をめざし・・・」と教育の目的を明記しています。文部省はこれを受けて、学校教育で目ざすのは知育、徳育、体育の向上と位置づけています。(1960年代)それは現在の文科省も異論のないところです。私も異論はありません。文部省は「知・徳・体の3向上」を具体化しています。ところで、12～18学級は他の学級と比べて何がすぐれているのですか。12～18学級は他の学級と比べて知育が伸びるのでしょうか。徳育が養われるのでしょうか。体育が向上するのでしょうか。12～18学級がいいというのなら、それを証明しなければなりません。教育の中身の成果で優位性を述べるべきです。たくさんの友だちとかかわることが大事だというのなら19学級の方がいいのではないですか。対抗戦などで切磋琢磨する機会が多いのがいいのなら20学級の方がいいのではないですか。小規模校は切磋琢磨する機会が少なく、協調性や社会性に欠けると考えているとすれば、小規模校で育った人たちへの冒涇ではありませんか。小規模校出身の人が12～18学級出身の人と比べて知・徳・体、すなわち教育的に劣っているというデータはあるのでしょうか。部活動はそれぞれの学校でできるものをやればいいのではないですか。小規模校でも生きいきと活動していますよ。どの部も全て備えなければならないというのなら12～18学級より大規模校の方がはるかに実現できますよ。教員の多忙化は小規模校の責任ではなく、教員定数を削減して来た政府の責任です。そこに目を向けないと問題は解決しません。そうでなく、小規模校解消に目に向けなければ、喜ぶのは政府です。
- ・(進学先の相違について) 中学校への進学先が別れる地域があって児童の不安も大きいという問題ですが、そういうことを市教委がつかんでいるのなら、それこそ当事者(児童・保護者)に寄り添って親身に相談し、当事者の思い、願いをよく聞いて、当事者が納得できる最大公約数的措置を講じることが求められるのではないのでしょうか。そこでの意見交換会こそ開くべきだと思いますよ。上からの目線で決めようとしているように見えています。中1ギャップの件も本市にあるということをつかんでいるのなら、それを克服する具体的な策を講じているのでしょうか。私の実践例を紹介します。(自慢するほどではありませんが)小・中の生徒指導部の教員がこの問題で話し合い、次のようなことを行いました。6年生を中学校へ連れて行って中学校の授業やクラブ活動を見学します。その後、生徒会役員が6年生を集めて、生徒会活動やクラブ活動について説明をし、学校生活を楽しいものにしようと努力していることを知らせ、最後に笑顔で握手と拍手で別れるという内容です。非常に簡単に述べましたが、これを行うのに小・中教員の苦労があったことは勿論です。後に、生指協の会合で他の学校でもいくつか似たようなことを行っていることを知りましたが、これは単なる学校訪問ではありません。生徒も苦勞しています。中1ギャップの解消或いは軽減が必要と考えるのなら、手をこまねいてずに生指協の会合などで現場の実態に見合う取り組みを(上からの押しつけでなく、私たちが行ったように)自主的に行えるような提起をすべきだと思いますよ。そして、もし、実行できる場合は市教委あげて支援してやるべきだと思いますよ。それがこの文章(7月2日発行分)からは見えてきません。必要があるというだけ。

2小1中の件ですが、小中連携を充実させるために何故2小1中だけが重要なのでしょうか。私は1小1中、2小1中、3小1中の全てを経験していますが、2小1中が他の場合より小中連携の充実が見られたなどというようなことはありません。小中連携させるためには〇小〇中の問題ではなく、教職員(小・中)の意識の問題です。その意識を高めるには心のゆとりも必要です。今の現場は追われています。尚、中1ギャップの問題では、中学入学への不安がある子の方が逆に成長できるという調査研究があるのを知っていますか、緊張を乗り越えて力を発揮していくのです。そういうことも市民に伝えて下さい。

- ・(校舎の老朽化について) 昭和40年代～50年代の校舎の老朽化を問題にしていますが、大きな疑問があると言わざるを得ません。40年～50年(築)の校舎が本当に建て替えないといけないのですか。それは本当ですか。建築の専門家にみてもらった上でのことでしょうか。私の友人に建築の専門家がいます。私が勤務していた当時、学校の状況をみてもらっていました。40年～50年はいくらでもあるわけではありませんか。私の勤務していた学校も40年～50年どころか80年経っています。今も改修を行いながら教室として立派に使用に耐えています。阪神淡路大震災にも耐えました。もう1度聞きますが、本当に限界なのですか。これは重大な問題です。⇒何故なら、それがために統廃合(廃校)にしようとしているからです。(他市では40年～50年でさわいでいませぬよ)100歩ゆずって限界だとしましょう。限界なら建て替えたらいいいのではないですか。ニーズにマッチしたように。何故廃校にしないといけないのですか。老朽化を理由に他市では老朽化を理由に学校を廃校にするなど聞いたことがありません。老朽化すれば建て替えています。廃校にはしていません。その間、プレハブ教室で勉強しています。廃校するよりずっと希望があります。総合センターは老朽化でどうするのですか。総合センターは市から姿を消すのですか。そうではないでしょう。建て替えるのでしょうか。市役所も老朽化でどうするのですか。市役所は市から姿を消すのですか。建て替えるのでしょうか。学校は何故、老朽化を理由に廃校にするのですか。誰も納得できないでしょう。
- ・(いろんな規模の学校があつていい) 1学年4学級の学校の運動会、最大の「売り物」は組立体操、子どもの数が多く、いろんな形の組体をつくっていきます。その多彩な演技に素晴らしいと感じる小規模校の子どもたち、卒業生も加わり、親子が一緒になって、地域ぐるみでいろんな演技を楽しんでいる小規模校の運動会、それを見てその和やかさに心ひかれる大・中規模校の子どもたち、これは私が大・中・小規模校をそれぞれ経験したときの、それぞれの子どもの思いです。みんな違ってみんないい、過密・過大校は別にしているんな規模の学校があつていいではありませんか。何故、12～18学級と画的な考えに固執しなければいけないのですか。自然に、同じような規模になるのならいいと思いますが、これまで永年に亘って築いて来た校区をわざわざ壊してまで、何故無理に同じ規模にする必要があるのですか。近年、文科省は12～18学級を強調するよ

- うになっていますが、その意図は教育予算を削減するために小規模校をつぶし、学校つぶしにあると言われなければなりません。今、日本の教育に求められているのは学校の規模や学級数の規模ではなく、1学級の子どもの数です。すなわち少人数学級なのです。いろんな規模の学校があってもいいけれども、1学級の子どもの数は少人数がいいということです。以前にも述べましたが「教育は人格の完成をめざし・・・」という教育基準法を受けて文科省が定めた知育、徳育、体育の向上をはかるには少人数学級がいいというのは世界が認めるところです。少人数指導は「知・徳・体の3向上」どころか知育さえも一部の教科に限られ、全教科の向上にはなりませんし、徳育、体育の向上は始めから落第です。少人数学級でこそ「知・徳・体」の3向上を目ざすことができる道です。少人数学級を追求して下さい。学校をなくす必要など全くありません。むしろ今チャンス（少子化）です。学校をなくしてしまったら、チャンスもなくなりますよ。
- ・3つの小学校、1つの中学校を本当に無くしてしまうのでしょうか。西部地区の南側に若い世代は住まなくなると思います。新小学校を作ってもそこに通う子ども達もいなくなってしまうでしょう。中学校まで40分も50分かかってしまうのです。中学生の荷物は9kgありました。その荷物を持って40分も登校に時間がかかるのであれば、登校だけで疲れてしまいます。中学校を西部地区に3校は必要です。それとも南側の人口はどんどん減っても仕方がないと考えますか。暇小、南小、南中を残す方向での再検討を望みます。
 - ・四條畷が大好きです。自然が豊か・・・大阪へも近い・・・小中学校の統廃合には基本的に反対。学校がなくなると地域に子育て世代の若い世代が住まなくなるからです。現に南小地区のある2,3軒では最近南小へ入学予定の家族が引っ越していたという所もあります。学校を無くすことなく、もっと行政が子育てしやすい町づくりを推進して、例えば今回の計画で色々と建替えしようとしている、その今回のお金で先生たちをたくさんに増やして、少人数学級を実現させることにより、四條畷では公立小中でもきめ細やかになる指導がしてもらえると環境になれば、四條畷が子育てしやすい町という噂が広がり、子育て世代が住みたいと思うまちにしてほしいです。
 - ・そういう先生を増やすという手法は民間ではできないことです。そこは、民間の業者に丸投げするのではなく、行政の責任として考えてほしいです。
 - ・民間の意見をとり入れること全てが悪いとは思いません。行政だけでは考えられない思いつかないアイデアを出してもらうことは良いことだと思います。しかし、民間の提案はやはり最終的には自分達の会社がもうかることです。当然です。今回のPFIでは計画を提案した会社は入札に参加できない仕組みにはなっていますが、子会社やグループ会社は参入できることになっており、親会社が提案した内容で子会社が建設し、トータルグループ全体に利益が得られる仕組みになっています。
 - ・南中をつぶして新しい小学校を建てる市役所と総合センターをつぶして合同庁舎を建てる四條畷は財政難であるにもかかわらず、次々と建て替える計画となっていますが、この計画で一番うれしいのは誰でしょうか。もちろん業者です。で、借金を払うのは誰でしょうか。PFI計画では15年～20年の分割払いができています。ということは、今の世代ではなく、次世代に借金を残すということです。つまり母校を奪われ、遠い中学校に通わなければならない。この子達が、大人達が自分達の都合で計画した計画によってできた借金を負わされるのです。
 - ・小学校を1校建てるのに13億円かかると言われています。そのお金があれば多くの先生を雇えます。建物をつぶす建替えるのにお金を使うのではなく、子ども達の教育に向けて使ってほしいです。
 - ・行政の都合で、1人の子どもも犠牲にはしてはいけないと思います。今、29年度南中廃止案が出されています。ということは、今の小学校6年生は南中で卒業できないということです。それをこのタイミングで発表されています。⇒もう数年前に発表されていれば、南中で3年間過ごすことができないのなら、私立への選択肢も選べたのかもしれませんが。でも6年の夏休みも過ぎてから、今さらその選択もできません。
 - ・今回の提案では、5年後に南小と東小を統合するためには、2年前には南中をあけてもらわないと建替えるのに2年は必要だということで29年度廃止となっているようです。
 - ・机上での計算だけで物事を決めないで下さい。
 - ・本当に市民の気持ちを考えて計画を作成してほしいと思います。
 - ・中学3年生という身も心も不安定な時期の子ども達にとって、初めての受験を向かえる本当に大事な時期です。その受験という不安の中で、中学3年という時期に別の中学校へ移校しなければならない子ども達の気持ちを少しでも考えて計画いただいたでしょうか。
 - ・南中の所に、小学校を建替えるから、南中生はその年度から「ハイ、暇中に行って下さい」、そんなわけにはいかないです。
 - ・不安な気持ちのまま、中学3年生を迎え学校は遠くなる、1年・・・2年と、ともに学んだ友達とも西中と暇中とに分かれ、それぞれ新しい中学で今までできあがっている人間関係の中へ入っていかなければならない子ども達の気持ちを考えていますか。もしかして、いじめられるかもしれません。それで受験に影響を及ぼさないでしょうか。
 - ・四條畷市は、数年前にくすのき小の統合をやっているので、小学校の統合は経験済みだと思います。でも、中学校の廃校は、はじめてのことです。小学校とは、また違います。色々な問題があると思います。机上の計算だけでなく、そういったことも含めて、もっともっと慎重に話し合ってください、当事者に深くかかわる保護者、教師の意見を聞く場、話し合いをする場を持っていただいて、慎重に決めていただきたいです。
 - ・2学期制の時もやはり、その対象となった年代の子ども達は大変でした。私は、その当時の子ども達は行政の安易な方針にふりまわされた犠牲者だと思います。
 - ・今回の中学校廃校では犠牲者を出してほしくないです。

- ・公立学校の廃止・統合は色々な要素を含みます。受験生にとっては、人生の選択の大事なところですよ。そういうことをきちんと踏まえた上での行政の提案としていただくことを望みます。
- ・今回の提案については建物を解体する学校を、廃校する事を前提として考えられた案としか思えません。小規模校解消のためとはいえ、3小学校、1中学校を廃校する案はあんまりだと思いません。学校を建て替えようとするならば莫大な費用がかかります。今ある建物を利用の方が経済的だと思いますがいかがでしょうか。東小・南小地域が子どもが少なくなり、単学級・学年が出てきている中で1校の廃止はやむを得ずだなあとはいいますが、今ある暁小をつぶして、その辺に市役所などを統合するという事に対しては、行政機関を集中する必要性などはないと思います。財政難、財政難といって、ふれあい教室の利用料金等も来年度から値上げをするのに、片方で多額の費用をかけて今ある学校をつぶして新しい小学校をつくるのはお金の無駄遣いだと思います。163号線とJR線にこだわる必要はないと考えます。例えば、東小廃校をやむなしとするならば、東小の子ども達で山側の地域の子供も達は暁小へ、少し線路よりの地域の子供も達は南小へと校区編成をして、暁小と南小の子ども達が今の南中をそのまま残して南中へ通うようにすれば良いのではないのでしょうか。学校が地域の防災拠点であるという考え方からも暁小・南小・南中を残すことで、各々の地域の防災拠点が確保されると思います。今回の市側の提案だと南東地域、(東小校区)と南西地域には各々小学校が1つずつしかなくなり、避難する場所もない状態になります。暁小、南小を残すことで拠点になる所が2ヶ所ずつとなり、少しだけ安心できるようになります。これだけ廃校をする施設をつぶすという案が出されているのは、きっと民間の提案だからなのではないのでしょうか。新しい施設を作るというのは業者が得をするということです。しかし、それは分割になるとはいえ、いずれ市民が負担することになります。ただでさえ、財政難ということで色々と市民に負担がかかっているのに、これ以上、市民の負担を増やすのでしょうか。立派な温水プールを作るには多額の費用がかかります。市民全体が望んでいるのでしょうか。田原地区からは利用がしにくいと考えますが、作ってしまえばのちのち負担をするのは、全市民です。利用予想などをしっかりと検討された上で計画されているのでしょうか。つぶす⇒新しいものを作るありきではなく、財政状況に合った計画を望みます。
- ・今回のこの計画は、西部地区の南側半分で過疎地化にする計画ですね。川崎・楠公・滝木間・畑中・塚米地区には今後、子育て世代は住まなくなるといいます。せつかく新しく小学校を作ってもその小学校に通う児童はいなくなるでしょう。中学校も遠すぎます。今、中学生のカバンは9kgぐらいあります。そのカバンを持って40分も50分もかかって通学しなければなりません。今、住んでいる人は、仕方なく通学するかもしれません。しかし、今後、子育て世代で住みたいと思う人はいないと思います。どんどん年寄りばかりが住む町になっていくと思います。町が衰退していつてしまふと思います。そういう事も考えて、学校を廃止することについてしっかりと検討してもらいたいと思います。
- ・新小学校を建設するより、改修で教育環境を整えていくほうが、無駄がない。(学校図書の実充等も)
- ・小中連携を進めていくのはいいことだが、3つから2つに中学を減らす必要はない。南中と東小で小中連携校に改修すればいいのでは。(忍ヶ丘小と暁中のように)
- ・少人数から大規模になることで、加配も期待できない最近の教員不足の状況からもきめ細かい指導や有効な人間関係をつくるという考えは無理がある。(小学校も中学校も)
- ・校区編成の時、子ども目線で、実際に歩いたりといったことをして考えられたのか疑問。子どものいない方々で考えられていたのかと思うような当事者を無視した案に感じた。
- ・中学生の荷物を計ってみると9kgもありました。9kgの荷物を持って朝から30分以上にも歩いて登校して毎日授業を受けられますか。登校するだけで疲れてしまいます。西部地区の南側にも中学校は必要です。絶対、南中は残すべきです。今の計画では、上記の地区には子育て世代は住まなくなるといいます。ますます子どもの数は減る一方だと思えます。本当にこの計画のまま進めて大丈夫でしょうか。どうぞ、再検討して下さい。東小廃校は仕方ないとしても、暁小・南小は残すべきです。今の計画だと南中のあとの新小学校に通う児童はいなくなります。
- ・なぜ、小学校区を4つに分ける必要があるのか？1つの地区に1つの小学校がいるのか？！東小、南小、南中を廃校にするのは必要なことだと思うが、そこに新しい小学校をつくる必要はない。H32の児童数の予想からいっても、岡部小より200人、忍小より400人も少ないのに、一世代先まで考えるなら、無駄であると言えないのではないかと将来的にも劇的に現東小や南小に子育て世代の流入がおこるとは考えにくく、東小の子は現暁小へ南小の子はくすのき小又は岡部小に行くのが余計な費用もかからないと考える。岡部小校区の4つのマンションの子供たちが小・中学校の進学を終える頃に再び再編を考えるべき。
- ・(学校と地域)子どもがいろんな子どもと知り合い、友だちになる場はどこでしょうか。保育園であり、幼稚園であり、学校ですよ。特に校区という広域の場で考えると、それは学校です。学校がなければ同じ校区という所に住んでいても、生涯口をきくこともなく、友だちになることもなく過ぎていくことが考えられます。学校があつてこそ、知り合え、友だちになり、学んだり、遊んだりしながら友情を育てて行くのです。その子どもたちが育って行って青年や大人になって、地域社会を支えていくのです。今の子供たちの未来も多くはその道をたどっていくことなのでしょう。子どもたちはやがて自治会、消防団、子ども会、いろんなまちの行事の実行委員会の任務を担っていきます。そして、その地域活動を通じて更に結びつきを深めていくのです。その子どもたちが最初に出会い、心を寄せ合っていく所が学校なのです。学校が人や地域を結びつけているのです。そして、人や地域が新たな子どもを育てていく学校を支えているのです。私は、これらのことを教育現場で活動する中で学びました。どんな教科書を読んでも書かれていない多くのことを子ども、保護者、地域の人々から「じか」に学びました。学校は地域の宝です。その規模が大きかろうと小さかろうと関係ありません。農・山林の学校をご覧ください。規模が小さいからといって大切にしないなどということはありませんね。むしろ、とても大切に守ろうとしているではありませんか。学校は自分たちを育ててくれた“ふるさと”なのです。その学校をいろんな口実をつけてなくそうとするのは犯罪的だと思います。

- ・四條畷の伝統ある小学校をなくさないで。又、中学校制になっての中学校の後の小学校もなくさないで歴史がうすれる気がします。
- ・少子化で人数が少なくなったら先生とじっくり勉強出来るのではないのでしょうか。多人数だから余計「いじめ」が多くなります。又、学力も上がりません。
- ・子どもの事を考えた学校づくりをし、他の市の人達が喜んで引っ越してくる町にしてほしいです。建物がいいでは人は集まりません。
- ・四校をなくすのは反対です。
- ・学校もいろいろの工事をされましたね。これは無駄になりませんか。
- ・畷小とシルバーセンターを新中学校には出来ないのでしょうか？改修工事は、できない事になっているのでしょうか。伺った校区割だと、中間地点が良いと思います。
- ・説明をきいても校区を4つに割る理由がわからない。畷小を廃校するのが理解出来ない。中野新町、楠公が遠回りをして、新小に行くのか納得できない。滝木間、畑中は畷小でいいのではないか。南中を新小にする必要があるのか。お金をかけて目新しくする必要があるのか。
- ・校区改定の説明が全くうけられず、意見を言う場がなかった。(広報不足＝“まちづくり”とは、とてもあいまいな表現、具体的に小・中学校の廃校案、新設について、との題で意見交換会を開催すべきであったと思う。いきなり廃校決定をつきつけられた感が大いにあり、知らない住民の方が多いです。)
- ・最終決定がいつになるのか具体的に教えて下さい。
- ・四條畷小学校の廃校反対(現状の場所での建て直しで問題なし)⇒市役所も現状の場所が良い(今の場所の何が問題なのかわからない)⇒なぜ、もめてまで移転する必要があるのか？施設を集約する必要性が疑問。
- ・小学校がどうしても廃校になるのであれば東中野地区の子供は選択できるよう希望(忍小 or 畷小(新小))、中野1丁目、2丁目の中学生は、来年(H27)より畷中か南中に選択できるよう希望。
- ・制服を来年度(特に中学)から統一、もしくは編入時に制服購入等の補助金助成⇒途中で合流して異なる制服の人間が同じクラスにいたらいじめの原因になるのではないのでしょうか？早めの対応をお願いします。
- ・私の認識では、6年前、3年前、今回と3度にわたり校区変更などの説明があったと認識。以下、東中野地区におけるのみ述べる。
 - 6年前 長女が翌年4月に小学校入学というタイミング。1) 畷小学校⇒東小学校に校区変更。※まさに寝耳に水で入学準備(制服の手配など)している最中で、他の保護者の方も説明会においてほぼ全員が反対していた。説明会はこの一度だけ。後の報告も今後の方針についても説明や書面はなし。
 - 3年前 長女が小学校3年生・次女が翌年4月に小学校入学というタイミング。「四條畷市学校規模適正化基本方針」資料をもとに説明会が行われ 2) 東中野地区を東小学校校区に組み込み、南中学校へ進学。 3) 東中野地区を畷小学校校区のままとして、畷中学校へ進学。 ※上記2案が提示される。合わせて平成27年4月に校区再編と統合校の開校が説明資料の今後のスケジュールにて示されるも具体的な説明はなし。他の保護者の方も説明会においてほぼ全員が反対していた。 ●私はこの説明会后、以下の反対事由などを意見書として提出。 ●東中野地区を畷小学校校区に組み入れたのは東小学校開校時の行政判断であり東中野地区の校区の問題、児童の減少は当時から認識されていた。 ●児童を対象とする事件、事故が多数発生する中でより近い南中学校ではなく遠方の畷中学校に登下校する際の安全性の問題とより近い南中学校へ登校できない無駄に対する説明が不足。 ●長女は途中で転校することになり最も多感な時期の精神的負担が重くなることの問題。 ●長女、次女で通う学校が異なることの問題。 ●制服や学用品の買い直しによる無駄や経済的負担の増大。 ※上記に関して納得できる説明がない限り「反対」と表明。 ※3年前の説明会もこの一度だけ。意見をまとめた書面の配布はあったと記憶するものの、意見書に対する回答や意見書を受けての再度の説明会はなかったし、今後の方針についても説明や書面はなし。
 - 今回 長女が中学1年生・次女が小学校4年生に翌年4月に進学というタイミングで育成会の登校班班長からメールにて 4) 平成29年度4月南中から畷中学校へ校区変更。南中学校は廃校、後に新小学校を新築予定。⇒長女は2年生まで南中学校、3年生で畷中学校になる。 5) 平成32年度4月畷小学校から忍小学校か、もしくは畷小学校から新小学校へ。畷小学校は廃校、南小学校、東小学校も廃校。との連絡をいただく。 ※今回は事前に直接の当事者である保護者に説明会の機会はなく育成会の役員にのみ『四條畷市子ども会育成連絡協議会』からの説明会が行われ、結果のみが上記のようにメールで知らされたのみ。月末には再度育成会向けの説明会はあるようだが班長へ意見を伝えるのみで保護者自らが“直接”意見を述べる機会はない状況。
 - 上記の流れを踏まえ以下の反対事由を伝えるとともに、以下に納得出来る誠意ある回答および説明がないかぎり現案に『反対』であると表明する。●6年目は1)の通り畷小学校⇒東小学校への校区変更案が示されたにもかかわらず、3年前はその東小学校が統廃合の候補として選定されていた。⇒これを鑑みるに『子供の教育』という長期的視点が必要な行政課題であるにもかかわらずあまりにも「行き当たりばったり」でありすぎると思える。今回についても3年前は案としてまったく提案も案内もなかった 5) が示され、迷走ぶりが甚だしく、信用・信頼を持つのは到底不可能な状態である。
 - 6年前、3年前ともに説明会での意見・要望に対する対象保護者への再度の説明会開催・書面の配布なし。⇒噂で“再検討中”らしいという情報が流れる状況の問題。および途中経過の説明もなく、突然に4)や5)案が提示されることに対する行政対応への不快感。
 - 6年前、3年前ともに説明会に参加した保護者の大多数が反対であるにも関わらず、統廃合・再配置を強行する結論ありきな行政対応の問題。⇒地方自治とは住民の意見・要

望を反映して政策の策定、実行を行うことのはずである。

- 四條畷市の子供の数が減り続けていることは昭和50～60年代には行政として認識していたことは3年前の資料でも明らかにもかかわらず、20年間この問題を放置した責任の問題。ならびにその行政のツケを被ってしまう保護者・子供世代への誠意・配慮の欠如。
- 上記に付随して3度の説明会を開催する時期（進学・進級に対して半年を切ったタイミング）の悪さとそれに対する移行措置の特例などがない結論ありきとしか思えない、案提示の方法。※子供の間でも進学・進級に対する話題が出始める時期であるにもかかわらず状況が判然としない事による保護者・子供の精神的負担の問題。※制服や学用品の準備に対する予定・行動が行えない問題。
- 長女に関して4）案だと2年生まで南中学校、3年生で畷中学校になる問題。※中学校3年間という短い時間の中で最終学年に転校しなければならない。最も多感な時期である思春期の子供への影響の軽視。※受験の対象学年となるタイミングでの環境の変化（授業の進め方、クラスメイトとの関係、教師との関係）に対する配慮の欠如。※これに関して兄弟・姉妹間を考慮した「移行期間の特例」などの配慮が提示されていない問題。⇒現時点であれば来年4月から特例として長女を畷中学校に登校させて転校を回避し、姉妹で同じ学校に登校できるようにするなど。
- 長女、次女で通う学校が異なることの精神的・経済的負担の問題。※制服や学用品の買い直しによる無駄や経済的負担の増大。行事参加への弊害。
- 児童を対象とする事件、事故が多数発生する中でより近い南中学校ではなく遠方の畷中学校に登下校する際の安全性の問題と、より近い南中学校へ登校できない無駄に対する合理的説明がない。
- 元々存在する『南中学校を廃校して新小学校を新築予定、畷小学校は廃校』に関する合理的説明がない。※南中学校は廃校して新小学校にするのであれば、南中学校の廃校のみで畷小学校を存続させることで対応出来るのではないかと。※校舎の耐用年数を考えても赤字の四條畷市が新小学校を新築することの是非の説明・議論がなされていない。
- 今回の説明については育成会の登校班班長からのメールによる情報提示のみであること。※事前に直接の当事者である保護者に説明の機会はなく、育成会の役員にのみ『四條畷市子ども会育成連絡協議会』からの説明会が行われ、結果のみが上記のようにメールで知らされたのみ。月末には再度育成会向けの説明会はあるようだが班長へ意見を伝えるのみで保護者自らが“直接”意見を述べる機会はない。これは『反対意見封殺』以外のなにものでもなく到底受け入れられない。

⇒直接保護者の意見・要望を確認するための説明会を開催すべきである。

- ・四條畷小学校も廃校になると聞いたときは、驚き（疑問など）もあったのですが、長い目で見ると、子どもの数も減っていくし、地域で小学生の人数にもバラつきがでてくると思うので、今のままでは難しいところがあると思うので新しい校区割、学校再配置は必要だと思います。特定の事情によっては（認められた場合）、学校の選択ができるようにした方がいいのではないかと思います。
- ・中学校の校区割であまりにも遠くなる子供達います。西中⇒畷中にかわる楠公地区はかわいそうです。
- ・忍小、畷中に行く子供達が増えて「おぐらガーデン？」～「ぼけっと」に上がる道（歩道）は狭く、フンがよく落ちていて歩きにくい歩道で、子供が増えると車道を歩く中学生も増えるかと……。廃校となった跡地が何になるのかをも明確にしてほしいです。畷小は残してほしいです。（そのままの場所で！）
- ・中学校を廃校にして新築で小学校を建てる必要があるのか？（南中）
- ・現在少なくなっている小学校を見直してみてもは……。南小校区は、新しい住宅が増えてきてます。）
- ・畷小の廃校、南中の廃校を取りやめにしてほしいです。
- ・忍ヶ丘小学校へ通うことになったら通学路の安全性の面に不安があります。楠公・南野1丁目・2丁目から畷中に通うのは遠いと思います。
- ・特にないです。でも四條畷小学校は、ソーラーパネルなどなど色々な工事をした所で、キレイな校舎ですし、ぜひ残してもらいたいです。
- ・（小学校）新設小学校は、畷小の場所にして欲しい。忍ヶ丘小学校は遠くて登下校が心配なので新設小学校へ通いたい。
- ・（中学校）中学3年時、2年時に畷中に行くのなら、次の4月の入学時から畷中に入学できるようにして欲しい。（途中での移動は、勉強面、クラブ、人間関係などで問題あり）
- ・兄弟のいる人などそれぞれ事情が違うので、一定期間だけでも選択できるようにしてほしい。
- ・（校区変更）周知できていない。原案を市報にのせたり、ポスターにして貼ったりして欲しい。うわさと思っている人も多い。次の小学校新一年生、中学校新一年生に関わる話で、話し合い期間、準備期間が約半年しかなく短かすぎる。まず、制服の統一や交流などを進めてからの方が良い。
- ・（中学校）途中から変わるなら1年から行きたい。南中が良い方と畷中が良い方がいるので選べるようにしたい。遠くなるので嫌です。子供の少ない地区なので早く暗くなる冬の間だけでもチャリ通にしてほしい（クラブなどで帰りが遅くなる）。3年後に南中が廃校になる事を知らない人の方が多い。急ぎすぎではないですか？少ない生徒数でも地域性を重視して小さい範囲の中でやっていく事に問題ないと思う。（南中のままで良い）母体が大きくなると交通の安全性や不審な事への配慮がすごく雑になり過ぎて守れていかないと思う。まして範囲を大きくすると保護者の見回り等々負担もすごく大きくなると思う。
- ・（小学校）兄弟で使う予定であった制服は？人数の多い畷小を廃校にしないといけない理由が分からない。同じ学年の子がいないので遠くなるのは通学させるのに不安。ただで

さえ子供が少ない地区。こんなことをすればさらに引越しして子供の数が減るのでは？すぐそこに新設される小学校があるのに！まだ以前の案の方が廃校にする理由がわかる！（東小を廃校にして南小へ）

- ・学校は毎日の通いやすさを重点に考えてもらいたい。
- ・もっと市の説明会をわかりやすい形で開いてほしい。
- ・中心部の学校をなくすことは子供のいる家庭が住まなくなり、町が廃れることが考えられる。
- ・（南小廃校⇒新小学校について）東小との統廃合の話の時に塚米の踏切が危ないとの意見が多かったと思うが、今回は南小校区の子供が渡らないといけないわけで、危ないのは同じではないか。途中で学校を変えないといけない子供への負担を考えると、どうせ変わらないといけないなら、入学時からしてほしい。
- ・（南小校区⇒暁中について）どう考えても無理。大人でもしんどい距離を子供たちに歩かせるのか。日が短くなる時期、暗い中下校して万が一事件、事故などにあったらどう責任をとってくれるのか。岡部地域からくすのきへの話の時は反対意見が多くなったと思うが、今回南小地域がいくら反対意見を言っても少数意見になってしまうわけで、それで通らなくなれば絶対に納得できない。児童数を考えての学区整理なら美田町とあまり距離的に変わらない江瀬美は南小の方が近かったりするし、統廃合しなくてもまだ考える余地はあると思う。ただ、どんな意見が出て、やっぱり自分の地域の学校が良いとなるだろうし通学区域を変えるのは難しいと思う。
- ・前回の統廃合計画に比べ、全市的な考えで痛み分けしている点は評価できますが、移行までの期間が短すぎます。市政〇周年に合わす必要は全くありません。前回の反省を踏まえ、もっと細やかな市民に説明をし、段階を踏まなければいけないです。区長会で認められても、区長は区民に説明していません。市こ連に集う長の方も、くじ運悪く長となり、仕方なく来られている方ばかりで、実際子ども全員に情報をおろしているところは少ないのでは。交換会で皆様おっしゃっていましたが、今回の交換会では人は集まりません。私は市民会議のメンバーですが、会議では、前回の反省を踏まえ、細やかに説明を行うと言っていたので、区ごと、子ども会ごとなどで何回も説明会を行うものと思っていました。それに交換会の市側の受け答えは柔軟な対応ではなく、「自分達はやるべきことはやっている」という姿勢に見えましたよ。それは前回と同じです。あれでは意見交換会ではないです。市側の都合がよいように進められると皆さん感じておられます。市民会議、区長会、PTAなど説明をしたと言っても、市民のほとんどがこの計画を知らず、正しく理解しておりません。せっかくの各団体への説明はすべて市側のポーズと思われるのも仕方ない状況です。もっと細やかに柔軟な姿勢で説明・対応し、時間をかけて準備すべきです。現小6の東小生徒の保護者の中には、「こんなことになるなら私学受験を考えた」と言っていました。今からじゃ無理です。引越しを考えている方もいるでしょう。やはり、2年半後に暁中へ移行は無謀です。各地区の子ども達の通う学校が〇年度からどうなるのかの一覧を作り、その説明をしますということで保護者に通達して細やかな皆に知らせられる説明会をして下さい。そして、今回集まった少人数の交換会参加の意見はごもっともなことばかりでした。多くの人の意見・アイデアを柔軟に吸い上げて下さい。リリースの方法も民間のアイデアをもらってやればよりよいと思います。
- ・問題点が大きく分けて2つあります。ひとつは、計画のすすめ方の問題です。“住み良いまちに”“市民のために”というのなら、まずは広く市民の意見を聞き、それを反映させた原案を作成した上で、すすめていくべきではないでしょうか。いきなりできあがった計画を出して“できる限りこれでいきたい”と言われましたが、それでは市民は納得できませんよ。周知の仕方も、疑問です。市の広報誌や広報掲載板、また書面による各地区での回覧など、いくらでも方法はあるはずですが。育成会からのメールで10月に初めて知ったという人も多いです。おそらく育成会に入っていない未就学のお子さんのいる家庭で、まだ知らない人もいます。どれもはっきりしたことのわからない“ウワサ”のようなものです。市民のためのものではなく、市役所のためのものようです。もうひとつの問題点は内容です。3つの小学校を廃校にしておきながら、小学校を新設する…。それなら、廃校は2つでいいのでは？新設する予算は通学路の安全か校舎リフォームに使えば安く済むのではないですか。東中野地区の163号より南側の地域について、本当にこれでいいとお考えですか。東中野地区全体でほとんどが暁小廃校に反対です。これは思い出とか歴史とかそういった情緒的なものではなく、子どもたちの通学を考えた上でのことです。全ての計画の“なぜこうするのか？”という疑問が消えません。納得できる理由があれば、市民の賛成を得られるはずですが。もっと時間が必要なのは？
- ・暁小、南中で納得して家を買っているので反対です！もちろん、そのままだいいです。もし、暁小が廃校になるなら、中野地区で子供が少ないので、新小学校がいいです。次女と三女は同級生がいない班なので、忍小までの通学は心配です。放課後ですが長女は三回、不審者とも遭遇しているので…（その度に警察にも通報…）同級生がいないうえに遠くなるのはとても不安です。本当に一番端なので、忍小には行きたくないです。東小を廃校にしないから土井さんが市長になったはずなのに…まだ前の、東小を廃校にして南小へ！の案の方が納得できます。三年間後に中学がなくなることも知らない人の方が多いのに、なくすなんて強引過ぎると思います！暁中は6クラスぐらいあると聞いてます。南中は4クラスぐらい。10クラスに増やす意味も分らない…。私も地区を、163で二つに分けたらいいのではと思います。
- ・（学校の統廃合について）学校は毎日の通いやすさを第一にしてほしい。市からの説明会をもっとわかりやすいかたちで開いてほしい。この中心部から学校をなくすことは、子供のいる家庭が住まなくなり町が廃れることが考えられる。
- ・2班は現在、暁小、南中の地区です。ここから忍ヶ丘小学校は遠いので新設校の方に通いたい。途中で変わるなら来年から暁中に入れて欲しい。ややこしい地区で兄弟有り無しなどで意見も分かれているので、来年入学の子どもから移行完了迄の子どもたちには暁中、南中どちらか選択できる期間を作って欲しい。
- ・中学は29年度、小学校は32年度からということで来年入学の子ども達が途中で学校を移ることになります。なので、来年入学の子どもから制服を市で統合してほしい。

- ・ご近所の一歳のお子さんがいらっしゃる方に聞いたのですが、個人的には予定している区割り（忍小・暇中）でもいいです、ということでした。ご実家が国中近くにあるので、お友達はその辺りに多いことと、子供のうちからしっかり歩いて体力がつくのでは？と考えていらっしゃるようです。暇小卒業生の方なので、暇小は絶対無くなってほしくない、ともおっしゃっていました。私個人の意見としましては、南中の新設校は辞めにして、いまの暇小を工事して使えばいいんじゃない！と思っています。（東・南小の地区の方からブーイングが出るとは思いますが・・・）学校の数を減らさないで、忍小に近い団地や清滝地区は忍小、東中野はそのまま暇小がいいなあ、と思っています。暇中で皆合流するんだし・・・自分勝手なことばかり言ってすみません。
- ・暇小を潰すのはやめてほしいです。忍小と暇小の平成 26 年度在籍児童数をみると、暇小の方が多いです。暇小の在籍児童数が少なく、一学年一クラスになっているわけではありません。潰すのはやめてほしいです。暇小を潰して、暇小の子供が忍小に通うことになった場合、東中野自治会エリアの子供達の通学路の安全性に不安があります。暇小を残して、東中野自治会エリアの子供全員、暇小へ通うことを希望します。中学校の校区割りで、楠公・米崎・中野新町から暇中へ通うのは遠いと思います。西中の方が近いと思います。
- ・（小学校と中学校の統廃合について）確かに、児童数が減少していくことは示されていますが、なぜ、そんなに急ぐのかがわかりません。5 年後に必ず小学校を統合しなければならない理由がわかりません。市制何周年に間に合わせるためでしょうか。数年前から 32 年度には小学校を統合する案は出されていましたが、中学校の廃校については、今回初めて具体的に 29 年度廃校という案が示されました。今小学 6 年生の子どもたちは、先日小学校最後の運動会を終え、半年後に中学校に入学することを楽しみにしています。その中学校で、卒業ができない。3 年後に廃校になる。30 分以上もかかる遠い中学校へ通わなければならない。途中で転校しなければならない。ちいさな学校でたぶん学年で 2 クラスであったのが、5 クラスの学校へかわらなければならない。クラブ活動も、中途半端になるでしょう。中学校を廃校にするということの重みをもっと真剣に考えてほしいです。5 年後に新小学校を作るのには、建て替えに 2 年くらいはかかるから、29 年度には廃校にしないと間に合わない。そんな、計算だけで廃校を考えないでください。中学 3 年生といえば、人生のターニングポイントである初めての受験を迎える大事な大事な時です。たまたま、南野に住んでいたから、という理由だけで、そんな大事な時期に学校を変わなければならない子どもたちの気持ちを考えていただいていますか。教育委員会の方の中には、教員である方も、また保護者である方もおられると思います。なぜ、子どもたちの気持ちに寄り添った政策を行っていただけないのでしょうか。そんな行政運営をしているのは、若い世代はどんどん離れていきます。もっと、みんなが住んでみたいと思うような行政運営をお願いしたいです。温水プールを作ったからといって、四條暇に住みたいと思うのでしょうか。四條暇は、小学校も中学校も少なくなって遠い学校に通わなければならない。となれば、ますます、人口は減少するのではないのでしょうか。少人数でも充実した豊かな教育を受けることのできる学校がある方が、みんなが住みたいと思うのですが、いかがでしょうか。
- ・（統廃合問題について）小中一貫といつつ、暇小から、暇中に進学する子ども達には、小中一貫とはならないが、そのことについてどう考えるのか。29 年度に南中学校を廃校とされています。昨年 12 月に案を出された時には、5 年後ということしか、示されていなかったのに、3 年後に中学校を廃止するとは示されていなかった。⇒今の小 6 年 5 年の保護者は、自分たちの子どもたちは、ぎりぎり卒業できると思っていました。今の時期になって、29 年度に廃校という案がだされても困ります。南中で卒業できないということが、もっと、早くにわかっていたら、私学に行かせるという選択もありました。しかし、今からでは受験の準備もできません。行政は、机上の論理で、32 年度に小学校を統合するためには、2 年前には、中学校をあけておかないといけない。という、計算で案を作られたようです。もっと、その立場におかれた子どもたちや、保護者の身になって考えてもらいたいです。今、高校受験も毎年のように変革されていて、受験生とその保護者は大変な思いをしています。そのはじめての受験を向かえる大切な時期である中学 3 年生になる時になって、はい、南中は廃校となります。4 月から、暇中学校に行ってください。といわれる、子どもたちの気持ちを考えたことはありますか。子どもたちは、実験台ではありません。大切な時期に、行政の勝手に振り回さないでください。数年前の 2 学期制のときにも、子どもたちは大変な思いをしました。また、同じ事をするのですか。

その他

- ・今日の交換会に参加して感じた点。職員の皆さんにはお疲れさまと思います。こちらからの意見に対しての返答説明が長すぎるし、具体的返事が少なかった。まとめて下さい。全体の時間は最低でも2時間取って、最初の説明が長すぎる。具体策中心に説明するなどの工夫が必要。市長の参加を要請します。
- ・なぜ説明資料（案）が説明で使用されるのでしょうか。
- ・市民の財政負担にならないように進めるべきです。
- ・くすのき小に開かれた図書館とのことですが、授業中等のセキュリティの問題は？
- ・学校での説明会では、人数が集まらないと開いてもらえないと聞きましたが、本当ですか？
- ・確かに今回の意見交換会はPRがイマイチで「行こう」と思えなかった。
- ・もう少し「あらずじ」を見せて、お知らせすべきかと思う。
- ・学校の統廃合だけで考えると子どもの親だけがメインになってしまうが、全市民での話し合いになるような手立てにすべきかも。
- ・全市民へのアンケートは不要。自ら話し合いに出向かねば話にならない。小規模な説明会を。
- ・参加者が30名という現状を重く考えてください。実現、検討期間が短すぎませんか。その期間で安全面等考えられるのでしょうか。
- ・町全体としては難しいと思いますが、道の整備拡張をしてほしいと思います。災害時に一番困ります。
- ・周知徹底させる気が無い様に感じた。誠意が無い。
- ・全市民がHPを見られる環境とは限らない事くらい判りそうなものだ。
- ・反対運動が起こる前に議会を通そうとしているのか、悪意さえ感じる。
- ・この四條畷市には、子育て世帯の人たちが離れていく市だと思う。もう少し、特に南野の周辺の人たち、市民の声を特に聞くべきだと思う。財政を使うからには、もっと検討すべきだと思う。
- ・「小中連携」と「小中一貫」とは大きな違いがあることを忘れないでほしい。
- ・35人学級に向けての姿勢が弱い。これだけ大がかりの計画なのだから実現可能なはずではないか！
- ・区長や自治会長の動員も必要では？
- ・近くに小学校があるので引っ越ししてきた。子育て世帯に嫌われる市になる。
- ・放課後遊ぶ場所がない。学校が少なくなってさらになくなるのか。開放してくれるのか。もうじきなくなる小学校の近くにあえて住みたいと思えない。
- ・保育園に通っているお母さんは、意見交換会があることを知らなかった。
- ・この表題では交換会参加者が集まらないと思います。「小・中学校 校区見直しを伴う」を追加して再度説明会を開いてください。
- ・四條畷に住んで約10年。いろいろと思うことの提案。⇒乳幼児医療費の助成を0歳から小3まで実施していますが、この分にもジェネリック医薬品を使ってもらうように広報などで呼びかけしては？薬局ではこのあたりの意識が薄く、正規の薬がでることが多い！！
- ・各町会・自治会に委託しているリサイクル事業（廃品回収）の補助金をカットしては？雁屋町会では補助金なしでも運営できていてカットしても問題ない。（利益がでているため）
- ・新規住宅を購入した際に固定資産税か都市計画税が3年間減税されていますが、周知されていないので4年目の時に負担増の感じがした。⇒児童手当の拡充など目に見えるものに形を変えてはどうか？
- ・現状面では田原地区は市の長期計画の案の中には重要視されていないのではないかと？
- ・交通面⇒不便で数量（回数）が少ない。
- ・食料（買物）難民等の対策が遅れている。
- ・岡部小学校は地元です。本館のトイレ改修はありがたいと思います。しかし、体育館とその外にあるトイレ（2ヶ所）はそのままとか。同時改修は無理でしょうか？再度の修正を望みます。
- ・ホームページ・広報・学校プリントでは、この意見交換会があることすらわかってもらえない。（知らなかった。お知らせしてます。回覧板ではきつともめます。）もっともっと声を大にして市民を巻き込んで欲しい。
- ・あまりにも質問が長い。解答においても理解に苦しむ。
- ・変革期の子どもたちへのしわ寄せが大きすぎるように思う。子どもは柔軟性があると言うが、柔軟性に乏しい性質の子どもの事も考えてあげて欲しい。

- ・HPで情報公開したとおっしゃいますが、市民全員が見られる環境であるはずもなく、そのようなことは容易に想像できたはずである。周知させる気持ちがあれば市報に詳細を載せるべきだと考える。
- ・市民の声を聞き入れて、一緒につくり上げていきたいと思います。
- ・田原も暇ではありますが、コミュニティバスも本数が少なくて利用したくても利用できません。緑の文化園へももっと行きたいのに車がないと行けない。どんどんコミュニティバスも本数がなくなって残念です。
- ・説明会での質疑の時間が常に少なく、これで住民意見を聞いたと考えているのですか？
- ・追加の説明会までに質疑応答の機会はないのですか？
- ・説明会も8回、一部の反対意見に惑わされず、どこかの時点で区切り、結論を出し、市議会に計り、進むべし。ご苦労さん。健闘を祈る。
- ・市民との協働、市民の参画などが謳われているが、そのあたりをもっと話し合いを進める。
- ・コミュニティ拠点、防災拠点などもあまりイメージできない。
- ・北出小と西小が統廃合になったときの住民の声をききたい。(実際のメリット・デメリット)
- ・制服・体操服・かばん等教育費の負担を考えてほしい。(小3から1才まで子ども4人がおり、先行き不安)
- ・2小1中の考え方はいいと思うが、今の四條畷は無理である。(無理矢理はめこもうとしている)校区自由化・選択制(基本的校区割りはあるが希望で変更できる)にすれば良い。
- ・幼保一体型、新制度への移行がなされるが、幼・小・中の連携の考えが見うけられない。
- ・意見を伝える時間が少ない。考えをもって参加しているのに半分の時間を説明にあてるのはいかなものか。このような用紙に書いて、意見は伝えられるが、返答はいただけるのか？
- ・市役所、総合センターを建て替えるのなら、面積も広い現南中に建築すれば良いのでは！集約出来て良いのでは。
- ・今現在でもサン・アリーナの管理などがずさんなのに、屋内プールで市民も利用することができる施設などを作って、適切な管理などできるのか！？プールはコストがかかるということで、サン・アリーナを作ったときに計画の中でなくなったと聞いたが、税金で運営することを考えるなら、少子高齢化がより進むのに、市民の負担が増えるようなものは、安易な発想で作らないでほしい。
- ・四條畷の老人施策は良いと言われていました。(以前は)でも子どもの事はダメ。この頃は老人の事で少し特色がありましたが、今はダメでマンションが多く建っているわりに人口が増えない。これは子どもの事で他市へ出ていく人が多いからではないでしょうか(聞いてもいます)もっと市民の税金を考えて使って下さい。
- ・使わなくなった施設を、子ども達の遊び場にできませんか？図書館やプールを作るよりも先に、ボールを思いきり投げられる場所、バドミントンやバレーボールを使用できる場所を希望します。
- ・市役所・総合センターを建て替えるのなら、面積も広い現南中に建築すれば良いのでは！集約出来て良いのでは。
- ・四條畷の財政難もわかるし、児童数によっての子供たちの環境をすごく考えてもらっているのはわかります。でももう少し子供たちに負担がかからない方法を考え直してもらえないでしょうか。あと、説明会でも発言されていましたが、子供をもつ親にとってとても大事で重大なことです。もっと細かく地域の声を聞いて下さい。知らないままに決まっていたということだけはないように本当に本当にお願いします。
- ・市民から集まった意見や、傾向について公表してください。具体的にいつ着手するのか等も全市民に分かるように公表して下さい。
- ・変革期の子どもたちへのしわ寄せが大き過ぎるように思う。子どもは柔軟性があるというが、柔軟性に乏しい性質の子どもの事も考えてあげて欲しい。
- ・HPで情報公開したとおっしゃいますが、市民全員が見られる環境であるはずもなく、そのようなことは容易に想像できたはずである。周知させる気持ちがあれば市報に詳細に載せるべきだと考える。